

# 学びの広場

今月は、教育委員会が所管する各種委員会活動の一部をご紹介します。

【問い合わせ】教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

## 社会教育委員

名称 松田町社会教育委員会  
委員 14人  
議長 吉田恵美子さん（町屋自治会）

任期 2年

### 【委員構成】

公民館の登録団体をはじめ各種社会教育団体などから選出された方で構成され、1期目の方から7期目の方もいます。

### 【役割】

社会教育委員は、町の社会教育に関する計画立案、そのための調査研究を行う役割を担っています。

### 【現在の活動】

年6回開催される会議では、メインの研究は任期期間を通して、あるいは任期をまたいで2期に渡って続けられます。

本年度は子どもの居場所の現状



町民文化祭での折り紙・紙飛行機づくり

近年、町文化祭が盛り上がっているのは、ご存知ですか。これは、社会教育委員の皆さんの意見・提案が活かされているからです。

この結果は、教育委員会に意見として報告する予定です。しかし、その話し合い内容は、町民の皆さんには直接届かず、皆さんの役に立つことを考えても、その周知には、時間がかかります。そこで、子どもたちに関することを扱うなら、実際に子どもたちとその母親世代に接することも重要と考え、昨年の文化祭会場では、折り紙や紙飛行機づくり体験を行いました。

この活動を通して社会教育委員会の取り組みを知っていただく糸口となることを願って実施しました。反応は上々で、できれば、平成29年度は、さらに計画的に子どもと子育て世代に接する機会を設けることを考えています。

また、教育委員会事務局からの提案によって町の社会教育に関する問題を、適宜話し合っています。例えば、図書館、公民館登録団体、文化祭、子ども会に関することなどについて話し合い、参考意見として松田町の社会教育の実践に役立っています。

来年度は、県内の社会教育委員を集めた研修会で町社会教育委員の活動を発表させていただくため、その準備も同時に行っていきます。

## スポーツ推進委員

名称 松田町スポーツ推進委員会  
委員 10人  
会長 武尾哲治さん（中沢自治会）  
任期 2年

### 【委員構成】

地元自治会長の推薦などにより選出された方で構成され、1期目の方から5期目の方もいます。

### 【役割】

スポーツ推進委員は、町の社会体育の振興に寄与するため、スポーツ活動推進組織の育成及び連絡調整などを図り、町民のスポーツに対する理解と関心を高める役割などを担っています。



カヌー体験

スポーツ推進委員は、イベントを企画するのも、運営するのも、みんなが楽しみ方を知っているから面白い！

### 【現在の活動】

スポーツ活動を推進するため、町体育協会や青少年指導員会、さらには、子ども会などが実施する各種スポーツイベントなどにも積極的に参加しています。その際、準備体操の実技指導や

状況に応じて大会のサポートなども行っています。同時に、関係団体と連携して子どもから高齢者までが取り組める軽スポーツや手軽にできるニユースポーツなどの普及にも取り組んでいます。毎年5月に開催されるチャレンジャーでは、フィナーレイベントとして、子どもや高齢者の皆さんまで、誰でも参加しやすいよう「ダンス」を企画・運営をいたしました。さらに、今年度は姉妹町である千葉県横芝光町とスポーツ交流事業で、両町の子どもたちとカヌー体験やスナッグゴルフ・ディスクゴルフなどのニユースポーツを通して親睦を深めながら、普及活動も行いました。



スナッグゴルフ

### チャレンジデー スポーツ推進委員 主催イベント

- 2014年 ヒップホップダンス
- 2015年 ソシアルダンス
- 2016年 フラダンス

## 文化財講座のお知らせ

「続・寄の古文書」  
～煙草と櫃～

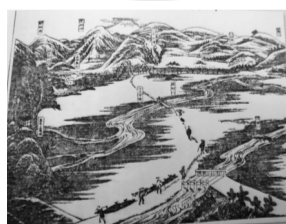
日時 3月12日(日)  
午前10時～11時30分  
会場 松田町立公民館  
(町民文化センター)  
1階展示ホール  
講師 寄地区在住  
神奈川県立高等学校  
桐生海正 教諭

3月9日(木)までに生涯学習係へ、お電話でお申し込みください。  
☎(83)7021



※櫃とはウルシ科の植物です

### 松田文化財探訪



《矢倉沢往還15》  
文化財保護委員  
草門 隆

### 「青山街道本道争い」事件の検証(その二)

「青山街道事件」の検証として「河内・沢尻コース」は、他の2コースに比して距離が短く優位性があることを定量的に紹介いたしました。今回は、「矢倉沢往還3コース」の存在と密接な関係があるのではないかと思われ、「十文字渡(場)の変遷」即ち、酒匂川と川音川を渡り対岸に向かう松田側の場所につ

「新編相模国風土記稿」より  
「十文字渡(眺望園)」

④幕末から明治以降は、明治15(1882)年作成の通称「迅速測図」に描かれている「河内・沢尻コース」(矢倉沢街道)の沢尻の十文字渡し場から、上吉田島に渡り古来の町屋継立場を全く通らない道筋です。

以上、渡し場の変遷を記しましたが、前記の「渡し場」は当町内の「矢倉沢往還3コース」と同様に、同時に存在して個々人の都合により、自由に川を渡っていたようです。

橋銭を必要とした「十文字橋」完成の明治22年以後も、着物姿の女性が荷物を頭の上のせ「自分渡し」をしていたという、古老の話の記録も残っています。

今回は更に「十文字渡し場の変遷」の深堀りと、当町と隣町の関係などに焦点を当てて検証してみたいと思います。

①江戸時代中期の享保時代(1716～1735)か、それ以前は町屋継立場を真っ直ぐに西に向かい、酒匂川左岸の土手を下流に進み、